

ジーナ・マッカーシー米国環境保護庁長官 スピーチ&タウンホール・ミーティング - 気候変動への米国の歴史的な行動 -

在日米国大使館・WWF ジャパン「気候変動の目撃者」プログラム共催



- ◇日 時 8月26日(水) 午後1時～午後2時15分
(開場 午後12:15分)
- ◇会 場 アメリカンセンターJAPAN ホール
(港区赤坂1-1-14 NOF溜池ビル8階)
【地図: <http://americancenterjapan.com/access/>】
- ◇講 師 ジーナ・マッカーシー氏 (Ms. Gina McCarthy)
【米国環境保護庁(EPA)長官】
- ◇導入部 小西 雅子氏 (Ms. Masako Konishi)
語 り 【WWF ジャパン気候変動プロジェクトリーダー】
- ◇司 会 渡邊 正孝氏 (Dr. Masataka Watanabe)
【中央大学研究開発機構教授】
- ◇使用言語 英語・日本語(同時通訳あり)
- ◇参加料 無料

こちらからお申し込みください: <https://business.form-mailer.jp/fms/f4500b0146333>
(先着順。定員に達し次第受付を終了いたします。)

米国環境保護庁(EPA)ジーナ・マッカーシー長官の特別講演に是非ご参加ください。東京で日米環境協力を強調・強化する目的で来日、EPAの画期的なクリーン電力計画が8月3日に発表されて以来初めてのマッカーシー長官の海外講演となります。この計画によって米国は発電所からの二酸化炭素排出量を2030年までに2005年比32%削減します。クリーン電力計画は、よりクリーンなエネルギーと公衆衛生の著しい恩恵をもたらし、世界の気候変動対策において米国が引き続き指導力を発揮する、強力かつ柔軟性のある枠組みです。(同時通訳付)

講師略歴: ジーナ・マッカーシーは米国環境保護庁(EPA)長官である。2009年、オバマ大統領よりEPAの大気・放射線部門担当の長官補に指名され、公衆衛生と環境を守るために良識ある戦略を主唱してきた。それ以前はコネチカット州環境保護部長を務めた。30年以上に亘るキャリアにおいて州および地方のレベルで極めて重要な環境問題に取り組み、経済成長、エネルギー、運輸、ならびに環境に関する政策調整の一翼を担ってきた。マサチューセッツ大学ボストン校で学士号(社会人類学)、タフツ大学で環境保健工学と政策立案の共同修士号を取得。ワシントンDC滞在外は、ボストン都市圏で夫と犬と共に暮らす。3人の子供ダニエル、マギー、ジュリーが自転車ですぐの場所に住んでいる。

記入いただきました個人情報は、米国大使館が管理し、今後、米国大使館の講演会・セミナー・会合等の案内のみに使用いたします